

2018年度 健康診断 追加・変更点のお知らせ

- **新たに「一般健診A1コース」を導入しました。**
 - ◆ 選択できるオプション検査を増やし、ご自身でカスタマイズできるようになります。
 - ◆ 今後、35歳以上の方については、「一般健診A1コース」を推奨します。

- **生活習慣病健診を廃止しました。**

- **人間ドックに上限（40,000円）を設けました。**
 - ◆ オプション検査を除く税込価格が40,000円を超える場合は、自己負担金が発生します。「KENPOS」または「健診施設リスト」より金額をあらかじめご確認ください。
 - ⇒ 公平性の観点より、地域により費用格差の大きい人間ドックについては上限を設けました。

- **2017年度にABC検診（胃がんリスク層別化検査）を行っていない方全員にABC検診を実施します。**
 - ◆ 2017年度に、35歳以上の方を対象に実施しましたが、施設条件や予約時の選択漏れ等が多くみられましたので、2018年度は未受診者全員を対象に行います。詳細はこちらをご確認ください。（この検診での自己負担はありません）

- **P4P項目として新たに「胸部CT」と「経膈エコー検査」を導入しました。**
 - ◆ 「胸部CT」は50歳以上で、ブリンクマン指数（1日に吸うタバコの本数×喫煙年数）が400以上の方が対象です。（この検診での自己負担はありません）
⇒ 胸部CTとは、胸部X線正面写真では見つけることができない、極小の肺がんや薄い濃度の肺がんを発見できるとされています。

 - ◆ 「経膈エコー検査」については、いったん立替払いをしていただき、後日「経膈エコー補助金申請書」に必要事項を記入し、領収書原本を添付の上、(株)イーウェルに送付して精算してください。（封筒はこちら。切手を貼って下さい。）
15日までに到着した分は翌月給与にて支給となります。（任意継続被保険者は対象外です。）
⇒ 子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫、卵巣がんなどが疑われる場合に有効な検査です。